

## 2014GW 芦別岳～幾春別岳

小野睦男

総会後の飲み会で山本氏と GW はどこの山に行こうかとの話題になり、昨年の GW にも登った日高山脈などの案も出た。が、以前から気になっていた、芦別岳のずーっと西にある幾春別岳に登りたいと思い芦別岳から縦走しようということで決まった。北稜掲示板でメンバー募集したところ長倉さんが参加となった。

この山域の情報は非常に少なく、インターネットで調べると、芦別岳からシューパロ岳までの記録はいくつか見つかった。写真で見るシューパロ岳から先にのびる鋸歯状の稜線が困難を思わせるのだがその記録がみつからない。多少不安がよぎりさらにネットで探すと、出発前夜になって中富良野在住の N 原氏が今年の 3 月末に幾春別岳から芦別岳まで縦走していることを知った。

4月26日

8:00 札幌発 -10:30 桂沢湖車デポ -12:20 新道登山口発 -15:40 覚太郎分岐- 17:10 半面山 C1

とりあえずロープやハーネス等登攀具を車に乗せて、山本氏を迎えに桑園駅に行き待ってる間に N 原氏に電話をしてみた。「基本的には岩峰はすべてまけるよ」「念のためロープは持参した」と丁寧に教えてくださった。一安心した我々も登攀具はやめて、念のため事務所に寄って短めのロープを 1 本持参した。長倉宅により長倉車と 2 台で札幌を出発。芦別岳への通いなれた道の途中から桂沢大橋を渡って 3~4 キロ行くと幾春別川左股沢の林道入り口があり車 1 台をデポする。長倉車で山辺に着いたのは 12 時過ぎ。新道を登り始めて 30 分もすると残雪が出てきてなかなか歩みが進まない。17 時過ぎやっとなり半面山を越えて熊の沼入り口の平坦な雪面にテントを張る。芦別岳を越える予定だったが急ぐことはない。

4月27日

4:00 起床-5:30 出発-7:20 芦別岳 PK-9:20 ポントナシベツ岳下-12:45 シューパロ岳 PK-15:40 岩稜分岐(1150m)-16:30 999mPK 直下 C2

予定より 1 時間遅れで起床。晴れて冷え込んだせいか雪面は適度に硬くアイゼンをつける。頂上直下の急斜面を上るころには雪も柔らかくなってきた。芦別頂上まで 2 時間かかった。目指す幾春別岳は山なみの遙かかなたに小さく見えている。頂上から近くに見えたポントナシベツだが意外と時間がかかった。予定よりかなり遅れているのと体力温存(?)のためポントナシベツの頂上は割愛し北側のコルから広いルンゼをシューパロ側に下る。この急な下りは懸念し

た場所のひとつだったが雪が腐っていたので何の問題もなかった。

この先は私にとっても初めての山域で楽しみ。ルンゼを下りきると広い平坦な雪原歩きとなり熊の足跡が横切ったりしてる。このあたりからは、夕張のマッターホルンと呼ばれる 1415m 峰が格好良く見える。前方には 1367mP が行く手を遮るように立ちはだかっている。ここは右（北側）の支尾根に回りこみ途中から支尾根の急斜面を登って、ピークをまくようにして行くとシューパロ岳とのコルに出る。そのまま尾根を登ってシューパロ岩稜に出てそこにザックをデポし頂上へ。頂上は狭かった。デポ地に戻って見渡す南稜には、大きい小さいの多くのピークが屹立していき手の困難さがうかがえる。N 原氏が通ってから 1 ヶ月がたつが稜線の基部には雪が残っているのでなんとかなりそう。しばらく行くと写真で確認していた大岩壁が見えてきた。稜線からは 2P くらいだが、基部からだとも 4～5P あるのかな？ 岨山の大壁くらい？ でも脆そう。その後も主に岩稜の西側基部のトラバースを続け、急な尾根にへばりついている雪渓に恐怖をおぼえながら、何度か支尾根に騙されそうになったりしながらも、地図と GPS でようやく幾春別岳に続く尾根にたどり着いた。約 1 キロの距離に 3 時間かかった。少しでも幾春別へとがんばるが 1 時間ほど歩くと周りが雪壁に囲まれた不思議な地形の平坦地が現れ C2。よいテント場だった。

4 月 28 日

3:00 起床-4:50 出発-7:20 776mPK-10:00 幾春別岳-11:30 633m東コル-14:35 林道-16:40 車デポ

今日も距離が長いので早起きしたものの出発は遅くなってしまった。核心部分を越えた安心感か？ たがここからは尾根が複雑に入り組んでいて地図とにらめっこが続いた。幾春別岳はまだはるかかなたに見える。ルートさえ間違わなければ困難なところは無いのだが、ただひとつ大きな熊の足跡がずっと続いている。反対向きなので大丈夫だろう。テントを出発して 5 時間後、やっと待望の幾春別岳にたどり着いた。遠くに光って見えているは桂沢湖か？ 稜線には残雪があり歩き難いことはないが、なかなか高度が下がらない。対岸には林道まで見えているのだが。下山コースの左股沢には林道があるはずだが、うまく林道に出ないと増水した沢は渡れないことになってしまう。多少の藪こぎもいれて幾春別岳頂上から 4 時間半でようやく林道に出た。最後に林道を 2 時間歩いてやっと車デポに着いた。

これで芦別岳から東西南北へ。東は山部。北は岨山へ。南は夕張岳。今回西の幾春別岳に。自己満足な山行でした。同行してくれた山本氏、長倉氏に感謝。



